

高校女子駅伝

全国大会「良い経験」

大垣日大高生、市長に報告



小川敏市長に全国高校駅伝を報告した大垣日大の濱野葉月主将(右)と松本七海副主将(大垣市役所)

昨年末の全国高校女子駅伝に出場した、大垣市林町の大垣日大高陸上部主将の濱野葉月さん(18)と副主将の松本七海さん(18)が同市役所を訪れ大会出場を報告した。同部は7年ぶりに2度目の出場で58チーム中50位だった。松本さんは同大会で1区を走り「全国のレベルを実感した。あこ



がれの都大路を走るこ
とができ良い経験にな
った」、濱野さんはけ
がのため同大会では選
た。後輩たちにつなぎ
たい」とそれぞれ語っ
た。小川市長は「全国
大会は貴重な体験とな
ったはず。満足できる
結果ではなかったかも
しれないがよく頑張っ
た」とねぎらった。
(小田香緒里)

2019年(平成31年)1月23日(水曜日)

全国高校駅伝の成績 大垣日大高生が報告

市長に

京都市で昨年十二月に開かれた「全国高校駅伝競走大会」の女子に出場した大垣日大高校の陸上競技部の濱野葉月主将(心)三年、ら、大垣市役所で小川敏市長に県大会からの成績を報告した。

同校は十一月に岐阜市などであった県高校駅伝競走大会で、五区間のうち三区間で区間賞を取るなどとして七年ぶりに優勝。県代表として二度目の都大路を走り、五十八校中五十位だった。

県大会、全国大会ともに出場した松本七海副主将(心)は「陸上を始める前からずっと憧れていた都大路を走り、全国レベルを体感できた」と振り返り「もっと成長して、大学でも記録を残したい」と抱負を述べた。
(服部桃)



県大会優勝旗を持って小川市長を訪問した濱野主将(中)と松本副主将(右)16日、大垣市役所で

濱野主将は腰などのけがで出場しなかったが、会場で見守るサポートや応援でチームを支えた。卒業後は大学進学を決めており「大会を通して多くの方々から支えられていると痛感した。これからの人生も経験を生